

**地質・土質モデル基礎研修
到達度テスト**

問題文の内容が正しいと思う場合は「○」、正しくないと思う場合は「×」を記入してください。

NO.	問題文	回答欄（○×）
1	地質・土質モデルには、土工形状モデルなどのように、詳細度が定まっているので、適切な詳細度によりモデルを作成する必要があります。	
2	3次元地盤モデルは、複数のボーリング柱状図等の地質・土質調査結果を基に、様々な情報を地質学的な解釈を加えて総合的に表現したモデルであり、ボーリングモデルや準3次元地盤モデルに比べて精度が高いモデルです。	
3	地質・土質モデルは、不可視である地盤情報をモデル化しており、測量や設計段階で作成される他のB I M/C I Mモデルに比べて不確実性が高いモデルである。このため、モデル作成過程での品質チェックが重要です。	

地質・土質モデル基礎研修

到達度テスト

解答・解説

地質・土質モデル基礎研修
到達度テスト 解答・解説

NO.	解答	解説
1	× （地質・土質モデルには「詳細度」の概念は適用しません。）	地質・土質モデルの品質は、地質・土質調査の質と量に依存するものであり、モデルがより精緻なものになったとしても、それに応じて品質が向上する訳ではないため、詳細度の概念はありません。 地質・土質モデルでは、活用目的に応じて適切な地質・土質モデルを選択するとともに、モデルの作成や更新、追加の方針、モデルの品質等の情報の記録など、後工程に引き継ぐための情報や手順等を整理することが重要です。
2	× （推定・解釈の情報が多いため、精度は落ちます）	3次元地盤モデルは、ボーリングモデルや準3次元地盤モデルに比べて、推定や解釈の余地が大きく精度が落ちるため、後工程においても注意しながら活用する必要があります。
3	○ （地質・土質モデルはプロセス要所での品質チェックが重要です。）	問題文に記載されているように、地質・土質モデルは不確実性の高いモデルであるため、活用に向けて作成するプロセスを規定したワークフローを明示することで、プロセスの要所で品質のチェックポイントを設けることが可能です。 なお、詳細な作成方法や考え方に関しては、「3次元地質・土質モデルガイドブック」や、「3次元地盤モデル作成の手引き」を参考にしてください。